

氏名(本籍)	いわさかずのり 岩佐和典(大阪府)			
学位の種類	博士(心理学)			
学位記番号	博甲第5861号			
学位授与年月日	平成23年3月25日			
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当			
審査研究科	人間総合科学研究科			
学位論文題目	成人愛着理論からみたロールシャッハ材質反応の産出過程に関する研究			
主査	筑波大学教授	医学博士	小川俊樹	
副査	筑波大学教授	医学博士	中谷陽二	
副査	筑波大学准教授	博士(人間科学)	青木佐奈枝	
副査	筑波大学講師	博士(学術)	望月聡	
副査	筑波大学教授	博士(体育科学)	中込四郎	

## 論文の内容の要旨

### (目的)

成人愛着理論の観点から、ロールシャッハ法の材質反応産出過程を明らかにするために、先行研究から導き出された以下の仮説を調査及び実験から検討した。すなわち、①材質反応と成人愛着との関連についての仮説、②成人愛着理論からみた材質反応と視覚的テクスチャ知覚による触覚的記憶の想起との関連についての仮説、③成人愛着理論からみた材質反応と触覚イメージとの関連についての仮説の3つである。これらを検証することで、材質反応の心理測定的な妥当性の確認し、材質反応と成人愛着との関連を反応産出過程に関わる認知機能から説明して、成人愛着と認知機能との関連を明らかにすることができると考えられた。

### (対象と方法)

仮説を検証するために、合計8つの研究を行った。対象はすべて日本人一般大学生で、2003年から2010年にかけて調査と実験が行われた。実証的研究では、それぞれの仮説を検証するために、ロールシャッハ法、成人愛着尺度(RQ、ECR-GO)、触覚イメージ鮮明性尺度を用い、実験では視覚的テクスチャ知覚による触覚的記憶の想起しやすさを測定するための語彙性判断課題を採用した。

### (結果)

[研究1][研究2]においてロールシャッハ法の材質反応(T)の産出数と成人愛着との関連を検討した。その結果、 $T>1$ 群はとらわれ型的な特徴と高い愛着不安を示し、 $T=1$ は安定型的な特徴を示す事が分かった。一方、 $T=0$ は愛着軽視型の傾向と同時にとらわれ型的な特徴を示した。これらの結果から、 $T=1$ 群と $T>1$ 群に関する仮説は支持されたが、 $T=0$ に関する仮説は部分的に支持されるに留まった。ここから、材質反応の心理測定的妥当性は部分的な支持されたものの、 $T=0$ に関してはその解釈仮説の運用を慎重に行う必要があることが明らかとなった。次いで、[研究3][研究4][研究5]では材質反応と成人愛着とがなぜ関連するかを、材質反応の反応産出に着目して検討した。その際、視覚的テクスチャ知覚による触覚的記憶の想起が材質反応の産出過程に関与していると仮定し、その個人差を触覚的記憶へのアクセス可能性に着目して測定する方法を作成し実験を行ったところ、愛着不安の高い者は触覚的記憶へのアクセス可能性が慢性的

に亢進した状態にあるため、ロールシャッハ図版を見た際にも視覚的テクスチャ知覚から触覚的記憶が想起されやすく、結果として材質反応が多くなりやすいという仮説を概ね支持する結果を得た。[研究6]では、手触りの感覚に特化した触覚イメージ鮮明性尺度を作成した。その際、イメージ対象物となる各項目について熟知度や感情価を統制し、項目選定を行った。項目分析と主成分分析を行った結果、高い内の一貫性を有する1次元構造18項目から成る尺度が作られた。[研究7]では、作成した尺度を用いて、触覚イメージ鮮明性の高い者は材質反応を多く産出するという仮説を検討し、中程度の正の相関を得た。[研究8]では、成人愛着と触覚イメージ鮮明性との関連を調べ、愛着回避傾向は触覚イメージ形成時の感情反応を介して、触覚イメージ鮮明性に負の影響を及ぼすことが明らかとなった。

#### (考察)

材質反応と成人愛着との関連はある程度の頑強さを有し、両者の関連のメカニズムは視覚的テクスチャ知覚による触覚的記憶の想起によってある程度説明できる。そのため、材質反応の臨床的解釈においては、材質反応数だけでなく、触覚的記憶が想起されているかをパフォーマンスから直接読み取ることにより正確に愛着不安傾向を査定できる。

### 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、従来臨床経験及び理論的考察から説明されてきた材質反応と成人愛着について、実験も含めて実証的に明らかにした。視覚的テクスチャ知覚による触覚的記憶の想起を測定する語彙判断課題の基準関連妥当性が示されていないことや、愛着不安と触覚的記憶の想起に関してやや論理に飛躍を認めるなどの問題点はあるものの、学位論文としての水準に達しているものと判断する。

よって、著者は博士（心理学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。